

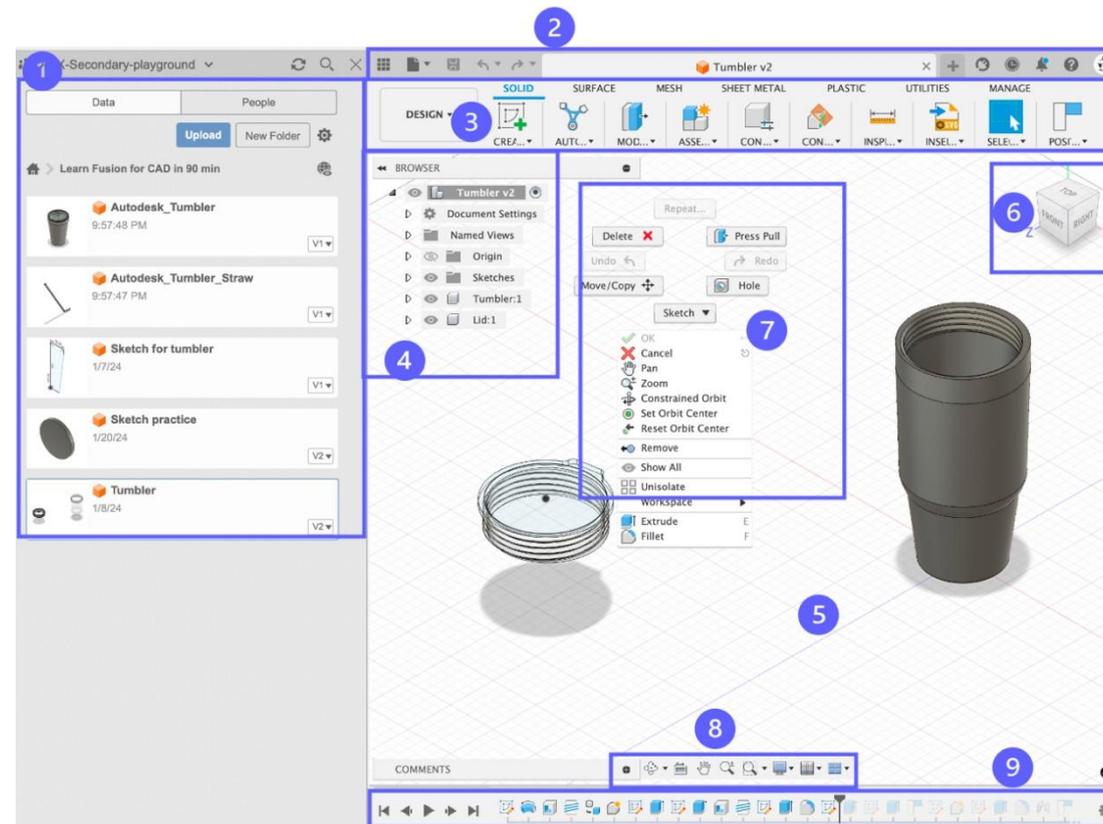
ステップバイステップ ガイド

ユーザ インタフェースの紹介

ファイルをアップロードし、ナビゲーションや設計に使用できるさまざまな機能について見てみましょう。ブラウザ、ViewCube、ナビゲーションバー、マーキングメニュー、タイムラインの使用方法について学習します。

学習の目的:

- ユーザー インターフェースのさまざまなセクションについて説明する
- [データ パネル]を使用してプロジェクトや設計にアクセスする



完成図

1. Fusion のユーザ インタフェースは、いくつかのセクションで構成されています。左端のデータパネルでは、さまざまなソースからデータを読み込み、整理、および視覚化することができます。

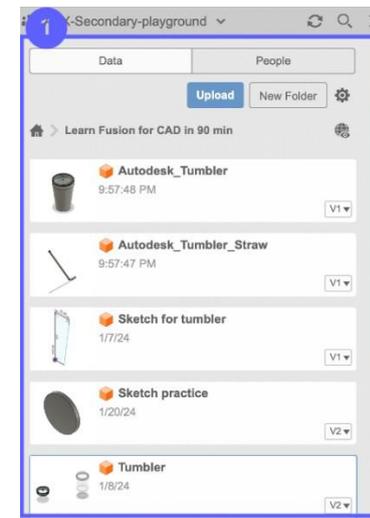


図 1. [データパネル]

2. [アプリケーション]バーには、[データパネル]、[ファイル]メニュー、[元に戻す]、[やり直し]、および開いているファイルのタブが含まれています。



図 2. アプリケーションバー

3. ツールバーではワークスペースを選択でき、設計を作成、修正、解析するためのツールが含まれています。



図 3. ツールバー

4. ブラウザは、設計内のコンポーネント、スケッチ、フィーチャ、アセンブリを整理された階層ビューで表示します。

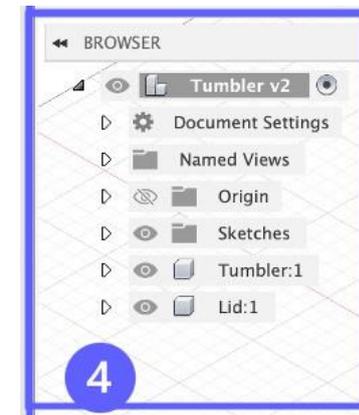


図 4. ブラウザ

5. キャンバスは、モデル、スケッチ、アセンブリを作成および編集するデジタルワークスペースです。

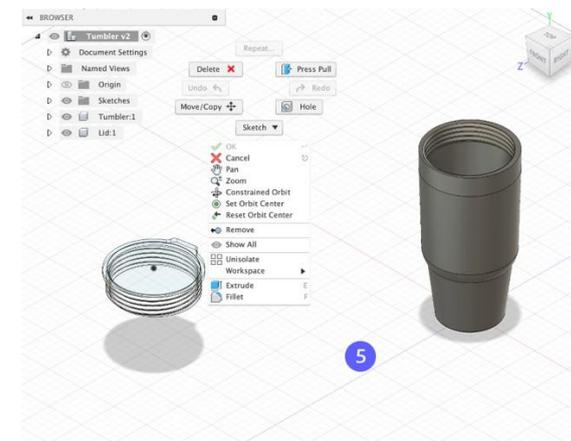


図 5. キャンバス

6. ViewCube を使用すると、ワークスペース内でモデルの方向をインタラクティブに変更できます。

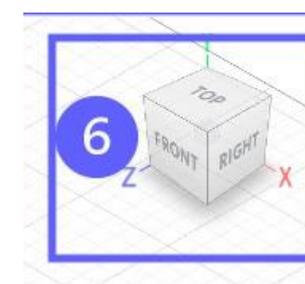


図 6. ViewCube

7. [マーキングメニュー]を使用すると、現在の選択やコンテキストに基づくコマンドやツールにすばやくアクセスできます。

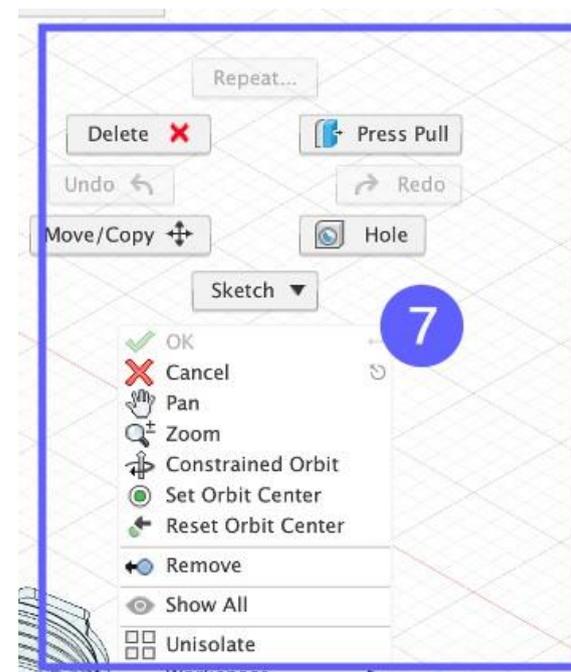


図 7. マーキングメニュー

8. ナビゲーションバーには、オービット、画面移動、ズーム用のツールが含まれ、グリッドの設定や表示に関するオプションが用意されています。



図 8. ナビゲーションバー。

9. タイムラインは、設計全体で実行される一連のアクションを視覚的に表現したものです。



図 9. タイムライン